



アラル海地域における水利用効率と塩害の制御に向けた気候にレジリエントな革新的技術開発 (SATREPS)

事業概要

本プロジェクトは、ウズベキスタンのアラル海地域における持続可能な水資源管理と気候変動へのレジリエンス強化を支援するものです。深刻な水不足や気候変動の影響を受ける同地域において、水利用のモニタリング、灌漑効率の向上、水資源管理手法の改善に向けた革新的な技術の開発・適用に取り組めます。また、ウズベキスタンの研究機関および関係政府機関との連携を通じて、デジタル技術やデータに基づく意思決定、気候変動に強いアプローチの導入を推進し、農業における水資源管理の改善と地域住民の持続可能な生計の確保を目指します。

事業目的

アラル海地域における効率的な水資源のモニタリングおよび管理のための革新的技術を開発・導入することにより、気候変動へのレジリエンスを強化するとともに、限られた水資源と土地の持続可能な利用を促進することを目的としています。

事業の概要



事業期間

2022年7月 ~ 2027年7月



実施団体

イノベーション開発庁 (Agency for Innovative Development)、各研究機関、大学等



対象地域

アラル海流域、カシュカダリア



期待される成果

- ✓ 農業における水資源のモニタリングおよび管理能力が向上する
- ✓ アラル海地域をはじめとする水節制地域の農業および地域社会の気候変動へのレジリエンスが強化される
- ✓ アラル海地域における環境回復および持続可能な地域開発に貢献する